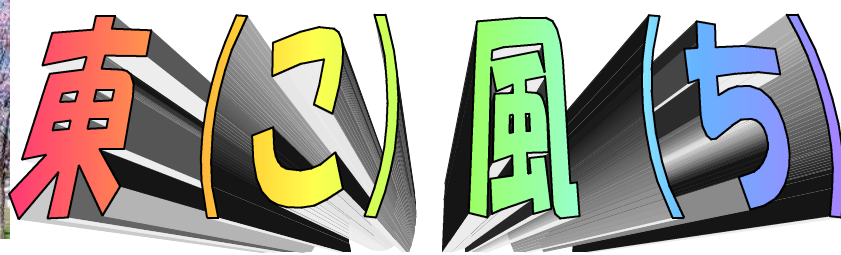




〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298



旭川市立神居東中学校
元年度学校だより

No.8

11月26日(火)発行
発行責任者 教頭:小嶋

「相手をリスペクトすることから始めよう」



校長 森 田 聖 吾

雪の便りとともに空気も乾燥する季節を迎えました。今年は異例の早さでインフルエンザが猛威を振るっております。保護者や地域の皆様におかれましては、いつもの生活に手洗いやうがいなど予防のポイントを取り入れて、元気にお過ごしください。

さて、11月7日には生徒会が中心となって本校の伝統である「いじめ撲滅集会」を実施しました。いじめの問題は、一方的な加害、被害の構造だけではなく、本人にとっては何気ない行動からいじめが始まることがあります。

2学期に実施したアンケート調査や教育相談などでは、「嫌な思いをした」という訴えが各学年に数件ずつありました。その内容は「冷やかしからい」「悪口」「SNSでの誹謗中傷」などです。いずれも、相手の気持ちを考えて行動することができれば、心を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることはなかったはずです。

したがって、生徒一人一人がいじめ問題と真剣に向き合う時間や、いじめ根絶に向けた願いをスローガンとしてまとめたり、いじめられている仲間やいじめの傍観者の気持ちを想像する劇などは、子どもたちにとって貴重な学びの時間であると思います。いじめの問題点をお互いに主張し合い、その対策を真剣に考えたこの集会が、子どもたちの学校生活の充実につながることを心から願っております。

また、校長講話の中では、『私も大切、あなたも大切』を合言葉に、互いを尊重し合える関係を築いてほしいと、再度、伝えさせていただきました。

その際に、今回はラグビーワールドカップでベスト8に輝いた日本代表が「ONE TEAM (ワンチーム)」で戦えた要因を説明しました。代表チームのメンバーは7カ国の出身者で構成されており、異なる文化や背景を持つ選手が一つになるには、**相手へのリスペクト(尊敬する、重んじること)**が何よりも重要です。



学校は一つの社会であり、それぞれ多様な個性をもつ子どもが集まり集団生活をする場です。

お互いを尊敬し合い、思いやる心を持ち、その心を形として表していくことが必要です。

そこで「東中生」には、次の言葉をいつも心にとめて学校生活を送ってほしいですし、卒業後もそのことを実践し、他者からリスペクトされる人に成長することを期待しております。

その一方で、私たち大人(教師、保護者)は、子どもたちの心に水をやり、光をあて、時には栄養を与えられる存在でありたいです。子どもたち自らが**命を輝かせ、人の痛みのわかる温かい心**を育ててほしいと願うばかりです。

口は、人を励ます言葉や感謝を伝えるために使おう!

耳は、人の言葉を最後まで聴くために使おう!

目は、人の良いところを見るために使おう!

手足は、人を助けるために使おう!

心は、人の痛みがわかるために使おう!



旭川市PTA研究大会 全体講演 講師 奥村 幸治 氏



11月17日(日)、旭川地場産業振興センターにてPTA研究大会が開催されました。本校からは、保護者、教職員あわせて11名が参加しました。全体講演の講師である奥村氏は、MLBで活躍したイチロー選手の専属打撃投手を務めるなど、パーソナルトレーナーをされている方です。奥村氏は、子どもたちに「失敗から学ぶことの大切さ」、「失敗から立ち直る力の大切さ」を学校と家庭が連携し、教育していただきたいと力説しておりました。

